

他機関収蔵分マイクロフィルム等

フィルム番号	古文書名	所蔵	点数	規格	リール数	コマ数	解 説
F1	堀田家文書	佐倉厚生園	1,172点	35mm	223巻	158,070コマ	江戸から明治時代にかけての堀田家に関する史料である。当家は佐倉藩(現佐倉市)の藩主をつとめた。「(徳川家綱朱印状写)」、「年寄部屋日記」等の江戸時代の藩政史料である。このマイクロフィルムは市販されているものである。
F2	阿部家文書	国文学研究資料館	74点	35mm	6巻	3,335コマ	江戸から明治時代にかけての阿部家に関する史料である。当家は佐貫藩(現富津市)の藩主をつとめた。当家の系譜、貞享元年の領地目録、安政三年から慶応三年までの「手控」(公用日記)等の藩政史料である。このマイクロフィルムは国文学研究資料館史料館が撮影したフィルムを複製したものである。
F3	太田家文書	国文学研究資料館	93点	35mm	13巻	8,272コマ	江戸から明治時代にかけての太田家に関する史料である。当家は柴山藩(現芝山町)の藩主をつとめた。当家の系譜・公用日記・明治期の藩債等の藩政史料である。このマイクロフィルムは国文学研究資料館史料館が撮影したフィルムを複製したものである。
F4	保科家文書	国文学研究資料館	53点	35mm	3巻	1,727コマ	江戸から明治時代にかけての保科家に関する史料である。当家は飯野藩(現富津市下飯野)の藩主をつとめた。当家の系譜や徳川家康朱印状等の藩政史料である。このマイクロフィルムは国文学研究資料館史料館が撮影したフィルムを複製したものである。
F5	高橋家文書	茂原市立美術館・郷土資料館	7679点	35mm	233巻	92,815コマ	江戸末期から明治時代にかけての当家の地主経営やに関する文書や、幕末の地役人・明治期の千葉県会議員・衆議院議員をつとめた、高橋喜惣治についての文書等である。当家は幕末に鶴牧藩地役人をつとめた。「水野美濃守御留」、「御代官森寛蔵御留」、「鶴牧御用留」などの御用留については、国文学研究資料館史料館が撮影したフィルムを複製したものもある(28点)。
F6	西尾家文書	国文学研究資料館	100点	35mm	5巻	2,957コマ	江戸から明治時代にいたる西尾家に関する史料である。当家は花房藩(現鴨川市)の藩主をつとめた。当家の系図や歴代藩主の書状等の藩政史料である。このマイクロフィルムは国文学研究資料館史料館が撮影したフィルムを複製したものである。
F7	黒田家文書	国文学研究資料館	138点	35mm	6巻	3,385コマ	江戸から明治時代にかけての黒田家に関する史料である。当家は久留里藩(現君津市)の藩主をつとめた。当家の系譜や位記、和歌関係の史料や明治から大正にかけての公用日記等の藩政史料である。このマイクロフィルムは国文学研究資料館史料館が撮影したフィルムを複製したものである。
F8	千葉県立中央図書館所蔵資料	千葉県立中央図書館	201点	16mm	22巻	22,721コマ	内閣文庫「府県史料」の草稿である「千葉県歴史原稿」等と、明治22年の町村合併に関する「明治二十二年千葉県町村分合資料」である。一部非公開の箇所がある。
F9	守家文書	国文学研究資料館	40点	35mm	2巻	1,063コマ	江戸から明治時代にかけての塚崎村(現沼南町)の神明宮に関する文書と、同村の名主・戸長役場文書である。当家は江戸時代初期より同宮の神主をつとめた。

F10	斉藤家文書	国文学研究資料館	52点	35mm	2巻	794コマ	江戸から明治時代にかけての菘生村(現富津市)に関する名主文書と当家に関する文書である。また、当家は網元であったため、漁場出入り関係史料がまとまっている。
F11	飯高家文書	国文学研究資料館	31点	35mm	2巻	1,059コマ	江戸から明治時代にかけての清名幸谷村(現大網白里町)に関する名主・戸長役場文書と、当家に関する文書である。
F12	秋葉家文書	国文学研究資料館	14点	35mm	1巻	137コマ	江戸から明治時代にかけての栗生野村(現茂原市)に関する名主・戸長役場文書と、当家に関する文書である。
F13	小高家文書	国文学研究資料館	175点	35mm	15巻	10,282コマ	江戸から明治時代にかけての押日村(現岬町)に関する名主・戸長役場文書である。また、当家は江戸末期から医師となったことから、医書等の医業関係文書もある。
F14	森山家文書	国文学研究資料館	51点	35mm	1巻	603コマ	江戸から明治時代にかけての森山家に関する武家文書である。当家は江戸時代、旗本として上総国武射郡内に所領を有していた。系図・先祖書等の家系史料、旧縁地(上野国緑野郡藤岡(現群馬県藤岡市)・信濃国佐久郡森山村(現長野県小諸市))の寺院との往復書類等がある。このマイクロフィルムは国文学研究資料館史料館が撮影したフィルムを複製したものである。
F15	祭魚洞文庫旧蔵水産史料	国文学研究資料館	2,163点	35mm	24巻	15,548コマ	渋沢敬三が設立したアチックミュージアム(現神奈川県立歴史民俗資料館)において収集された、江戸から昭和時代にいたる水産関係史料である。この内千葉県関係の文書のみを撮影した。九十九里沿岸の鰯漁関係史料、金谷村(現富津市)浜方名主尾形家文書等がある。
F16	飯田家文書	国文学研究資料館	2,210点	引伸焼付	—	20,440枚	江戸から明治時代にかけての下総国相馬郡藤代村(現茨城県北相馬郡藤代村)に関する名主・戸長文書、改革組合村、蚕種組合、当家に関する文書等である。また、「千葉県庁布達回章」、明治7年「貸座敷願」(千葉県令宛)等の千葉県関係の文書も多く残されている。この内、千葉県関係の文書のみを収集した。これは、茨城県立歴史館が撮影したフィルムから焼き付けたものである。
F17	須田家文書	国文学研究資料館	154点	35mm	4巻	1,970コマ	江戸から大正時代にかけての常陸国行方郡牛堀村(現茨城県行方郡牛堀町)に関する名主文書と、大御山守(水戸藩直轄林御立入の管理)に関する文書、及び当家に関する文書である。同村の一部が下総国に含まれていたことから、千葉県に関する文書が多く残されている。この内、下総国や千葉県関係の文書のみを撮影した。
F18	木村家文書	国文学研究資料館	580点	35mm	11巻	6,800コマ	江戸から明治時代にかけての下総国相馬郡川原代村(現茨城県竜ヶ崎市の一部)に関する名主・戸長文書、割元文書と当家に関する文書である。また、「千葉県地券書抜帳」、「千葉県・茨城県官報綴」等の千葉県関係の文書も多く残されている。この内、下総国や千葉県関係の文書のみを撮影した。
F19	祭魚洞文庫旧蔵史料	国文学研究資料館	12点	35mm	1巻	249コマ	渋沢敬三が設立したアチックミュージアム(現神奈川県立歴史民俗資料館)において収集された、江戸から昭和時代にいたる文献史料である。この内、水産史料を除く千葉県関係の文書のみを撮影した。「上総国佐是郡奉免之郷縄打水帳」、「上総国夷隅郡苅谷村三町市場定」等がある。

F21	明治大学刑事博物館 所蔵文書	明治大学刑事博物館	862点	35mm	8巻	4,803コマ	江戸時代の下総・上総両国の地方文書や宗教関係の文書である。下総国葛飾郡松戸宿(現松戸市)関係文書、同国千葉郡桑橋村(現八千代市)、上総国山辺郡田間村(現東金市)の地方文書と香取神宮文書等がある。
F22	大河内家文書	神奈川県日本経済史資料室 大河内家	145点	35mm 35mm	2巻	961コマ	江戸から明治時代にかけての大河内家の史料である。当家は大多喜藩(現大多喜町)の藩主をつとめた。最後の藩主で幕府の要職を勤めた大河内正質、及び同家に関する藩政史料がある。
F23	藤崎牧士史料館所蔵 史料	(財)藤崎牧士史料館	4,850点	35mm	53巻	29,350コマ	江戸から明治時代にいたる佐倉牧の牧士に関する文書、当家に関する文書である。当家は江戸時代に佐倉牧の牧士をつとめた。江戸幕府の馬事政策・牧士の生活を伝える史料が多く残されている。
F24	川上家文書	川上家	2,223点	35mm	41巻	10,883コマ	江戸から明治時代にいたる小金牧の牧士に関する文書と、富塚村(現白井市)に関する名主文書、当家に関する文書である。当家は江戸時代に小金牧の牧士と同村の名主をつとめた。江戸幕府の馬事政策・牧士の生活・牧周辺の村々の様子を伝える史料が多く残されている。
F25	国立公文書館内閣文庫所蔵 千葉県関係 文書	国立公文書館内閣文庫	2503点	35mm	287巻	170,403コマ	江戸幕府の紅葉山文庫・昌平坂学問所の蔵書や、明治政府の太政官によって収集された文書等を収蔵する国立公文書館内閣文庫のうち、千葉県に関する文書のみを撮影した。「元禄郷帳」、「天保郷帳」、「上総寺社縁起」、「千葉県史料」等がある。
F26	川口家文書	千葉市郷土博物館	3,291点	35mm	35巻	18,860コマ	江戸から明治時代にかけての小金牧の牧士に関する文書と、北柏井(現千葉県花見川区)に関する名主文書、御改革組合、明治以後の地主経営に関する文書である。当家は小金牧の中野・下野牧の牧士と同村の名主をつとめた。江戸幕府の馬事政策・牧士の生活・牧周辺の村々の様子を伝える史料が多く残されている。全体の一部を撮影。
F27	小川家文書	芝山町史編さん室	2,412点	35mm	22巻	11,011コマ	江戸から明治時代にかけての上総国武射郡菱田村(現芝山町)に関する名主・戸長文書と、当家に関する文書である。当館収蔵の小川家文書と同一文書群で、芝山町町史編さん委員会に保管されている分を撮影したものである。※「収蔵文書解説」(No. 49)参照